

平成 2 1 年度

救急自動車購入仕様書

伊賀市消防本部

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、伊賀市消防本部（以下「本部」という。）が平成21年度に購入する救急自動車（以下「車両」という。）の仕様を定めることを目的とする。

2 法令等の遵守

車両は、緊急自動車として道路運送車両法（昭和26年法律第185号。以下「道運送」という。）に定める保安基準に適合し、かつ、救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知。以下「実施基準」という。）を遵守しなければならない。

3 手続き等

車両は、行政機関により定められた手続きに従い、申請及び許可等を受けたものでなければならない。

4 提出書類

- （1）受注者は製作に先立ち、仕様内容について本部及び救急資機材等納入業者と打合せを行い、十分協議したうえで下記の書類を本部に提出し、承認を受けること。

ア 設計図	2部
イ 諸元明細書	2部
ウ 製作工程表（完成検査予定日を記入すること。）	2部
エ 電気配線図	2部
オ 契約価格内訳書	2部
カ その他本部が指示するもの	2部

- （2）完成車両の納入時に下記の書類を製本し本部に提出すること。

ア 完成図	2部
イ 装備品・付属品等一覧表	2部
ウ 電気配線図	2部
エ 自動車検査証（自動車損害賠償責任保険証明書含む）	1部
オ 保証書	1部
カ 取扱説明書	1部
キ その他本部が指示するもの	2部

5 検査

検査は仕様書・承認図に基づき次により行う。なお、検査を受けようとする時は当該検査の7日前までに書面により検査の依頼をすること。

- （1）中間検査

本部職員の立会いのもと検査を受けること。

- （2）完成受入検査

ア 受注者は、各部給脂等点検整備を入念に実施し、燃料を満タンにして検査を受けること。

イ 車両等の取り扱い要領については、各専門業者による指導を受注者の責任において実施すること。後日本部よ

り依頼のあった場合も良心的に対応すること。

6 保証期間

保証期間については、納入後1年又はメーカー等で定める期間とし、ぎ装及び設計等に起因する故障等の不都合が生じた場合には、受注者の責任において無償により修復等を行うこと。

7 納期等

- (1) 納入期限 平成21年12月28日まで
- (2) 納入場所 伊賀市消防本部
- (3) 発注台数 1台（装備品・積載品等含む）

8 補則

- (1) 受注者は納入後旧車両を持ち帰り、廃棄処分すること。なお処分に係る一切の費用は受注者の負担とする。
- (2) 自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税及び自動車リサイクル料については、受注者の立替払いとし、本契約の支払いとは別に請求すること。また、これらの費用を除く運用開始までの一切の費用は、受注者の負担とする。
- (3) 本仕様書に基づかない装備品・積載品の追加及び仕様細部の変更等については、本部に連絡の上承認又は指示を受けること。
- (4) 公表している標準取付品及び付属品等は全て納入すること。
また、本仕様書に記載が無い事項でも、運用に当然必要なものについては、付加すること。
- (5) 車両及び付属品等に使用する材料及び部品は、特に指定が無い限りJIS規格及び製作する会社規格に適合する材料を使用すること。
- (6) 配線は天井等に敷設し、車両内外に露出させないこと。

第2章 車両本体の仕様

1 主要諸元

- (1) 車両全長 5,650mm以内
- (2) 車両全幅 1,900mm以内
- (3) 車両全高 2,600mm以内
- (4) 室内長 4,000mm以上
- (5) 室内幅 1,650mm以上
- (6) 室内高 1,850mm以上
- (7) 最小回転半径 6,500mm以下
- (8) エンジン ガソリンエンジン
- (9) 排気量 2,500cc以上
- (10) 最高出力 110kw（150PS）以上
- (11) 変速装置 オートマチックトランスミッション
- (12) 駆動方式 四輪駆動
- (13) 操舵装置 パワーステアリング
- (14) 乗車定員 7人以上

2 主要装備

(1) 安全装置	ABS 装置・運転席及び助手席 SRS エアバッグ
(2) マッドガード	前後輪後方
(3) オルタネーター	積載電装品に見合う容量
(4) インバーター	DC/AC 100V 正弦波 300W 以上
(5) バッテリー（収納庫付き）	120AH 以上（収納庫は点検しやすい構造）
(6) 全自動電子バッテリー管理器	
(7) AC 100V 電源自動切換装置	
(8) オートアイドルアップ機構	
(9) 排気管	地面と干渉しない構造及び患者室にガスが流入しない構造
(10) 寒冷地仕様	
(11) フォグランプ	フロント・リア
(12) ハイマウントストップランプ	バックドア上部
(13) 空調	クーラー、ヒーター、換気装置
(14) パワーウィンドウ	運転席、助手席
(15) ワイヤレスドアロック	リモコンキー 3 個及び予備キー 3 個付属
(16) 半ドア防止装置	スライドドア及びバックドア
(17) キー抜き忘れ警告	
(18) エンジンスターター・カット機能	
(19) 間欠式ワイパー	フロント・リア
(20) ドアミラー	電動格納式
(21) アンダーミラー	フロント・リア
(22) シートベルト	全座席分

第3章 ギ装の仕様

車両外装部は標準仕様の材料とするが、屋根を含む各機器の取り付け部は補強し、アンテナの配線等の取り付け貫通部は防水処置、室内の防音対策を十分に講じること。

1 車両外装

(1) 前面

ア 消防章

直径 150mm の樹脂製消防章をフロントグリル中央に取り付けること。（メーカー固有のマーク等は取り外すこと）

イ 赤色点滅灯

フロント警光灯と連動して点滅するレッドランプ（LED 式）をバンパー上部に 2 基（左右対称）に取り付けること。

(2) 側面

ア 助手席アウトサイドミラー

助手席から後方確認できる補助サイドミラーを取り付けること。

イ 救助器具収納ボックス

右側面に専用のボックスを設け、救助資機材（600mmパール又はL型パール、万能オノ、シートベルトカッター、ガラスカッター）を固定金具で取り付け収納すること。

ウ 路肩灯

左右の後輪を照射するスモールランプ連動の路肩灯を取り付け、別にメインスイッチを運転者の手が届く位置に設けること。

エ サイドフラッシャーランプ

ルーフ側面に左右対称に取り付けること。

オ 文字

① 両側面に「伊賀市消防本部」と丸ゴシックで青色テープを貼り付けること。

② メーカー固有のマーク等は削除し、「IGA CITY FIRE DEPT.」と両側面上部に青色テープを貼り付けること。

（文字の大きさ、位置等は別途協議する。）

(3) 後面

ア 外部電源入力用マグネットコンセント

専用のマグネットコンセント（蓋付）を後部バンパーに設け、全自動バッテリー管理器等へ商用電源（AC 100V）を供給できるものであること。（10m延長コード付）

イ バックドア停止表示灯

バックドア開放時、後方へ注意喚起できるものであること。

ウ 文字

「伊賀市消防本部」と丸ゴシックで青色テープを貼り付けること。

（文字の大きさ、位置等は別途協議する。）

エ リヤバンパー

リヤバンパープロテクター（アルミ縞板製）を取り付けること。

(4) 天井部

ア フロント及びリア警光灯

フロント及びリアに大型散光式警光灯を取り付けること。

イ 文字

「伊賀61」と丸ゴシック黒文字で貼り付けること。

（文字の大きさ、位置等は別途協議する。）

(5) その他

ア 車両外板は白色とし、全周に赤色テープを貼り付けること。

イ ボルト、ナットその他の金属部は、錆びない材質または防錆処理を施したものを使用すること。

ウ 接続部・貫通部・隙間部にパテを使用する場合には、体裁よく処理すること。

2 車両内装

(1) 運転室

ア フレキシブル型マップランプ

マップランプを助手席側のフロントピラーに取り付けること。(手元スイッチ付)

イ 助手席インナーミラー

助手席から傷病者室内を確認するためのミラーを取り付けること。

ウ 地図・書類入れ

運転者室の本部が指示する位置に最低3箇所以上、および傷病者室に最低1箇所以上A3サイズの収納を設けること。また運転者室の収納には、携帯機器を収納するポケット1個を設けること。

オ ヘルメット収納用フック

運転者室又は傷病者室に3個を取り付けること。

カ 電流計・電圧計

電流計・電圧計を取り付けること。

キ バックガイドモニター等 (HDD ナビゲーション含む)

Rレンジ連動のバックガイドモニターを取り付けること。

(2) 傷病者室

ア 床

床はフラットに成型し、内装との接合部をシーリングすること。

イ 防振ストレッチャー架台

防振ベッドは、スライド(左右)操作が可能で、振動を吸収し、エアーコンプレッサーを内蔵するものであること。(付属品一式を含める)

ウ 傷病者室シート

- ① 左側の前向きに1人掛けシートを設け、可能な限り下部収納庫を取り付けること。
- ② 横向き2人掛けシート(シートベルト、下部収納庫付)を設け、(2ベッド運用時サブストレッチャーを搭載するための脱着式積載台及びバックボード等固定補助ベルトを取り付けること。)
- ③ 右側後向きの跳ね上げ式1人掛けシートをストレッチャー架台頭部側に取り付けること。
- ④ シートは傷病者の観察・処置に適した構造とすること。

エ 照明

天井面に大型の調光機能付蛍光灯を取り付け、室内全体を均一に照射できるようにすること。

患者灯2灯を取り付け、可能な限り調光機能を設けること。

オ グリップ

天井面・左側面及び後部昇降口・右側面(前後)の有効な位置に、アシストグリップを取り付けること。なお、天井面・後部昇降口は大型のものとする。

カ 時計(アナログ式)・温湿度計

壁面の見やすい位置に取り付けること。

キ 点滴ビン固定器具

点滴ビンが最低２本以上固定できる器具を天井部に取り付けること。

ク コンセント及び救急資機材等固定装置

車内に設置するＡＣ１００Ｖコンセント・ＤＣ１２Ｖ電源は、電源を必要とする車両にかかる機材及び積載する救急資機材等の数以上とすること。

なお、積載する救急資機材等は別表１に定める固定装置により取り付けること。

ケ スポットライト

固定式のバックドアスポットライト（角度調整機能付）及び移動可能マグネット式ライトを専用コンセント付で後部昇降口に取り付けること。

コ 酸素供給配管

酸素ボンベ２本（９．４Ｌ）の収納庫及び固定装置を取り付け、加湿流量計及び酸素マニホールド（ジュンロン型×２口）へ配管し減圧装置から三方向チーズ、加湿器等（医療用酸素器具・別途取付）を経由し、自動式人工呼吸器（別途取付）に酸素を供給できる配管を設けること。

サ 収納庫

- ① 大型収納庫又はオーバヘッドボックスを設け、資機材が収納できるようにすること。
- ② 右側側面に救急資機材等が取付・収納できる医療器棚等を数箇所取り付けること。
また、救急資機材のコード類を整理するため、Ｃ型バネ付フックを必要数取り付けること。
- ③ 右側側面の収納庫には、扉を装着すること。
- ④ スクーブストレッチャー、バックボードの収納できるスペースを確保するとともに、容易に出し入れができる構造とする。
- ⑤ 大量の資機材を収納できるよう傷病者室にルーフサイド収納庫等（酸素マスク収納含）を本部が指示する場所に最低５個以上設け、収納庫にはアクリル扉を装着すること。
- ⑥ 傷病者室には、本部が指示する場所に最低４箇所以上網棚を取り付けること。
- ⑦ 引き出し式の収納庫には緩衝材を取り付けること。
- ⑧ サブストレッチャーの収納庫はスライドドア部分から容易に取り出せる位置に設けること。

シ 手洗い装置

足踏みスイッチ付きの電動式手洗いシンクを設け、上部に自動手指消毒器及びペーパーホルダーを取り付け、可能であれば収納庫を設けること。

ス ディスポグローブ固定ベルト

傷病者室にディスポグローブ固定用マジックベルトを、最低２組以上取り付けること。

セ ガラス目隠し処理

患者室内が見えにくい構造とすること。

ソ カーテン

左側面・後面にカーテンを取り付けること。なお、後面は電動で開閉し運転席又は傷病者室から操作できるものであること。

タ ホワイトボード

ホワイトボードを取り付けること。(筆記用具含む)

3 サイレン等

(1) スピーカー

電子サイレンアンプスピーカー (50W×2) を取り付けること。

(2) 電子サイレンアンプ

電子サイレンアンプ (50W、音声合成装置内臓、マイク付ピーポータイプ) をダッシュパネルへ取り付けること。(音声は別途指示)

(3) アンプ本体とは別に次のスイッチを設けること。

ア 出場予告・サイレンスタートスイッチ

イ サイレン音プッシュスイッチ2個 (取り付け位置は別途指示)

ウ 音声メッセージ用スイッチ1ch・2ch各2個 (取付け位置別途指示)

(4) フレキシブルマイクロホン

運転者用フレキシブルマイクを運転席側のドア上部に取り付けること。

(5) バックブザー

Rレンジに連動して後退警告するバックブザーを取り付けること。(メインスイッチ付)

4 消防専用電話装置

(1) 本体・AVM 取付け

支給する車載用 FM 無線機本体 (150MHz 帯・10W 型・F3E 単信用)・AVM (出動車両運用管理装置) を、専用の固定金具を設けて取り付けること。なお、無線機用電源線は直接バッテリーからとり、ACC 連動で電源供給がされること。

(2) スピーカー

運転者室及び傷病者室にスピーカーを各1個取り付けること。

(3) 送受信器

送受信器を本体付近及び傷病者室内に各1個取り付けること。

(4) アンテナ・配線

天井部にアンテナを取り付け、配線工事を行うこと。

(5) フレキシブルマイク

サイレンアンプに付属の運転者用フレキシブルマイクを使用し、押しボタン切り替えスイッチにより無線音声を送信できる構造とする。

(6) アースボンディング

ノイズ軽減のための処置 (アースボンディング等) を施すこと。

5 その他の取付品及び付属品

その他本文中に定めのない取付品及び付属品は次のとおりとする。

(1) 取付品及び付属品は別表2に定めるとおりとする。

(2) その他の積載品等は別表3に定めるとおりとする。

別表1(救急資機材等固定装置)

品名	数量	備考
患者監視装置固定装置	1式	
ウォール型アネロイド血圧計(ルアーロック付)固定装置	1式	
自動人工呼吸器固定装置	1式	
電動吸引器固定装置	1式	吸引カテーテル保持パイプ取付含む
自動体外式除細動器固定装置	1式	
サブストレッチャー固定装置	1式	スライドドアを開けて容易に取り出せる位置
自動心臓マッサージ器固定装置	1式	
スクープストレッチャー及びバックボード固定装置	1式	

別表2(取付品及び附属品)

品名	数量	備考
メインストレッチャー(GT-06、片側サイドバット改造)	1台	酸素ボンベバック含む
電子サイレン	1個	
赤色警光灯	3個	フロント、リア左右
消火器	1本	車内取付金具含む
タイヤチェーン一式	1式	ゴム製
スタッドレスタイヤ	4本	ホイール付
消毒用資器材	1個	オゾンUVエアクリア
はさみ	1個	レスキューシザー
救命浮輪	1個	膨張式救命浮輪
保安帽	3個	消防本部名入り

別表3(その他の積載品等)

品名	数量	備考
ダストボックス	1個	
反射チョッキ	3着	メッシュ(蛍光シルバー反射材60mm以上)
救命胴衣	3着	
耐刃防護衣	3着	
サーチライト	3個	
ゴム製車輪止め	1式	2個1組(1.5mロープ付)
スペアタイヤ	1本	ラジアルタイヤ(ホイール付)
フロアーマット	1式	ゴム製(運転席・助手席用)
停止表示板	1個	
非常信号灯	1本	乾電池付属
ナンバーフレーム枠	1式	前後
工具	1式	資機材収納及び車内活動等に支障の無い位置